

日本男系デマ大全

作家
泉美木蘭

男系カルトのデマがあまりに氾濫しているので、一覧にまとめることにした。

類例には有力な発信元を記載、国会議員が国会で発言したものについては該当の議事録を記載した。

いずれも女性を皇位継承の主体として認めず、愛子さまを皇位継承から排除するためにばら撒かれている、極めて悪質な女性蔑視のデマである。

第1章 「男系こそ日本古来の伝統」

後世につくられた男系思想を、古代からの伝統だったことにする系統。

【デマ1】神武天皇以来2600年以上、

一度の例外なく男系で継承されてきた

↓【派生】〈万世一系〉とは男系一系を意味する

↓【派生】男系継承は日本最古の伝統

2600年前といえば、縄文時代の終わり頃で文字史料すらない時代。なのに、「皇位の男系継承ルールだけはすでに完成していた」という壮大な思い込みのもと、歴代天皇の系譜を父方のみたどって、史実を歪曲した代表的なデマ。

実際には男系男子限定を明文化したのは、明治22年の旧皇室典範からにすぎない。歴史上は8人10代の女性天皇が統治し、斉明天皇から実子・天智天皇へ、元明天皇から実子・元正天皇へと継承された例もある。

また歴史上、神武天皇につづく第2代綏靖天皇から第9代開化天皇までは實在性がほばないとされ「欠史八代」と呼ばれている。

〈類例〉

・2000年以上の長きに亘って、一度も途切れさせることなく繋いできた例外なき男系継承（竹田恒泰）

・男系の血統が125代続いた「万世一系」が皇室の伝統であり、皇位は古代より一貫して男系で継承されてきた（高市早苗・衆院議事録）



資料リンク

・男系継承は2600年以上にわたって先人たちが守り抜いてきた皇室の伝統（小林鷹之・衆院議事録）



資料リンク

・「お父さん、お父さん、お父さん、お父さんと、父親をたどっていくと初代神武天皇につながる」（山谷えり子・参院議事録）



資料リンク

【デマ2】歴代女性天皇は、男系男子が現れるまでの〈中継ぎ〉だった

↓【派生】女帝は一代限り

歴史上の女性天皇の統治能力を認めたくないために、「次の男子に皇位を渡すまでのリリーフ（つなぎ）」と解釈しようとするデマ。実際には、推古天皇は36年間も在位し、冠位十二階・十七条憲法、遣隋使など国家制度と外交を整備している。皇極・斉明天皇は2度即位し、政変と国際危機のただ中で、百済救援のため大規模な軍事動員を行っている。持統天皇は藤原京遷都と律令国家形成の大事業を成し、文武天皇に譲位した後も太上天皇として実権を掌握した。

いずれも「中継ぎ」ではなく、その時代の国家を統治した天皇である。

〈類例〉

- ・女帝は一代限り認められるものであり、女帝の子孫が皇位に就くことはこれまで一度もない（竹田恒泰）

- ・八人の女帝は、一種のつなぎ、中継ぎとして即位（百田尚樹・衆参全体会議事録）



資料リンク

- ・女性天皇は適切な男系男子へつなぐ役割だった（施光恒）

【デマ3】歴史上〈女性天皇〉は存在したが〈女系天皇〉は存在しない

↓【派生】国民は〈女性天皇〉と〈女系天皇〉の区別がつかない

女性天皇の存在は認めながら、「父方も皇統だからその子は男系だ」という屁理屈から「女性天皇の子孫（女系）が皇位に就いたことは一度もない」と飛躍し、女性を通じて皇位が継承された歴史を隠蔽するデマ。

実際には、斉明天皇から子の天智天皇、元明天皇から子の元正天皇、持統天皇から孫の文武天皇など実例がある。

後世に成立した「男系・女系」という分類概念を、古代人も同じように認識していたかのように投影した時代錯誤。

〈類例〉

- ・女性天皇容認の背景には、「女性天皇」と「女系天皇」の本質的な違いが十分理解されていない現実がある（竹田恒泰）

- ・女性天皇には反対はいたしませんけれども、女系天皇、長子優先について、もう少し慎重に検討していただきたい（高市早苗・衆院議事録）



資料リンク

- ・歴史上8人10代の女性天皇が存在したが、全て男系であった（百地章）

【デマ4】女性天皇は〈未婚か未亡人〉でなければならなかった

完全なウソ。古代の女性天皇のうち、推古、皇極・斉明、持統、元明は若いうちに結婚・出産し、人生経験や政治経験を積んだ。60歳前後以降に即位・重祚している。結婚・出産は禁止などされておらず、すでに経験した後には即位した。

とくに7世紀は大陸・朝鮮半島情勢が激動し、日本も国家形成と国際危機のただ中にあり、軍事的統率を含む統治能力が求められた。

結婚・出産だけが女性の役割かのように決めつけ、愛子さまに對して「天皇になるなら生涯独身」を強要し、皇位を継承するなと圧力をかけるハラスメント。

〈類例〉

- ・男系継承を確実にするため、女帝は生涯独身を貫くこと、そして生涯出産をしないことの不文律が存在していた（竹田恒泰・著書『語られなかった皇族たちの真実—小学館』）



資料リンク

- ・女性天皇はすべて男系の女性天皇です。在位中には結婚もなさらず、次の男系男子に皇位を譲られた歴史があります（高市早苗・文藝春秋）



資料リンク

【デマ5】古代日本は〈父系社会〉で、皇位も父系原理で継承されていた

↓【派生】〈父系祖先祭祀〉こそ古代日本の皇位継承原理

「父系祖先祭祀」を社会の基本原理とするのは、シナ（中国）であり、古代日本に、父から息子へ血統を一本につなぐような「父系社会」は成立していない。

古代は父母双方を重視する首長層の政治的共同体があり、女性首長も存在し、政治的地位や財産の継承にも女性が深く関わっていた。5世紀半ば以前には、各地の首長は男女ほぼ半々だったことも考古学から示されている。

そもそも古代の「オヤコ」「ミオヤ（御祖・皇祖）」は、現代のような実の親子関係だけを意味しない。首長の地位を継承した者を、前首長の「子」とみなす「祖（オヤ）の子」という関係が存在した。古代社会を「自分が信じたい父系直系家族の感覚で説明したい」という願望が生み出す時代錯誤である。

〈類例〉

- ・父系継承が古代日本に共通した観念だった。祖先祭祀は父系を団結の核とする集団によって受け継がれる（新田均）

第2章 「女系になれば皇統が減じる」

女性を通ると血統・王朝が別物になる、という系統。

【デマ6】女系天皇が誕生すれば〈易姓革命〉 〈王朝交代〉が起きる

↓【派生】女性天皇が山本君と結婚すれば〈山本王朝〉になる

男系論者が毛嫌いするシナ（中国）の父系王朝観を、なぜか日本の皇室に持ち込んだデマ。

「易姓革命」とは、父系血族ごとに「姓」を持つシナ王朝で、悪政などによって天から見放された王朝を、別姓の一族が倒し、新たな王朝に入れ替えること。日本の皇室にはそもそも姓がなく、女性天皇の子が即位しても、皇室内部の皇位継承であり、革命も政権交代も起こらない。

〈類例〉

・男系継承の断絶は「皇統の断絶」、そして「王朝の断絶」を意味する（竹

田恒泰・著書『語られなかった皇族たちの真実—小学館』



資料リンク

・愛子様が山本さんという皇族以外の方と結婚され、第一子が天皇に即位されたら、天皇陛下の男系の祖先は山本家になります。女系の祖先は小和田家、天皇陛下直系の祖先は女系も男系も両方民間人になる（高

市早苗・衆院議事録）



資料リンク

・王朝は男系で継承するというのは、世界でも普遍である。女系で継承すれば、そこから先は違う王朝になる（鬼木誠・衆院議事録）



資料リンク

【デマ7】女性天皇になれば、夫である一般 男性が皇室を乗っ取る

↓【派生】女性天皇を許せば〈皇位篡奪を狙う勢力〉が現れる

↓【派生】女性皇族の夫に〈外国のスパイ〉が入り込む

「女性には男性に利用され、操られる」という観念に操られて、「男性は女性のハニートラップに引っかかる」というケースを忘却したデマ。配偶者の権限は制度で定められるため、婚姻しただけで皇位や皇室内の権限を得るわけではない。

最悪の人物を想定するなら「旧宮家男子」にも同じ想定が必要であり、女性皇族の配偶者だけを特別に危険視するのは、女性には主体性や能力に欠けると考える女性蔑視である。

〈類例〉

・女性皇族との結婚によって皇室に入り込んだ男性が、どこかの国のスパイだったら取り返しがつかない（竹田恒泰）

・女系天皇を許せば、皇位篡奪を狙う勢力が現れる。様々な外国勢力、

宗教勢力、政治勢力が女性の天皇の夫になろうと暗躍してくる（施光恒）

- ・皇室と無縁な一般男性が婚姻で皇室へ入ることは危険（百地章）
- ・女性天皇が中国人と結婚すれば、皇統が中国系に移る（三橋貴明）

【デマ8】天皇の正当性の根拠はY染色体の刻印にある

↓【派生】日本の皇室は千数百年にわたり、同じYを継承している

「神武Y」という生物学Sを唱える伝説級のトンデモデマ。

Y染色体は、遺伝情報載せて運ぶ染色体にすぎず、「皇統」や「人格」を運ぶ物質ではない。父から息子へ受け継がれる過程で変異を蓄積するため、「神武天皇と同じY染色体が2600年間そのまま継承される」などあり得ない。

そもそも「神武天皇のY染色体」など確認不能で、古代の皇位継承も、父から息子へつなぐ血統継承が最初から確立していたわけではない。

何より、皇統神話の起点はY染色体を持たない女神・アマテラスである。

〈類例〉

- ・男系男子に限って正確に受け継がれてきた初代天皇のY染色体（高市早苗・衆院議事録）



資料リンク

- ・天皇の正当性の根拠は、純粋な男系継承によるY染色体の刻印。今上陛下や皇太子殿下は、父親をたどっていけば神武天皇とほぼ全く同じY染色体を持たれる（八木秀次）

- ・どの国が、どう逆立ちしても敵わない、最強のYとその継承の歴史を我が国は持っている（竹内久美子）

【デマ9】男系継承は世界の宗教の常識

↓【派生】ローマ教皇、イスラム聖職者、ダライ・ラマも男性

日本の伝統を説明する根拠を、なぜか外国宗教の男性聖職者に求めるデマ。

日本は、女神・アマテラスを皇祖とし、アマテラスからニニギへの「この豊かな稲穂の国・日本は、私の子孫が王として治めるべき国である。だから皇孫よ、そこへ行って治めなさい」という天壤無窮の神勅を、皇位の正統性を語る神話的な根拠としている。天皇が皇位とともに受け継ぐ三種の神器の「八咫鏡」もアマテラスと深く結びつく。

つまり、女神からの女系継承ではじまっていることが日本の常識である。

そもそも、ローマ教皇は選挙で選出、チベット仏教のダライ・

ラマは「転生者」として認定され、父から息子への男系継承ではない。イスラム教にも世界共通の「男系世襲の最高聖職者」は存在せず、ユダヤ教のラビも学識と資格にもとづく宗教指導者であり、世襲ではない。

〈類例〉

- ・ 宗教的権威を男性に限り、男系によって継承する考え方は、世界の宗教の常識（竹田恒泰）

- ・ キリスト教でも歴代のローマ法皇と枢機卿は全て男性であり、チベット・ラマ教のダライ・ラマ、ユダヤ教のラビ、イスラム教の神職なども男性でなくてはならず、その地位は多くは男性によって継承される（竹田恒泰）

- ・ 日本の天皇は祭祀王。カトリック教会のローマ法王、イスラムの聖職者、チベット仏教のダライ・ラマはすべて男性（葛城奈海・国連女子差別撤廃委員会）



資料リンク